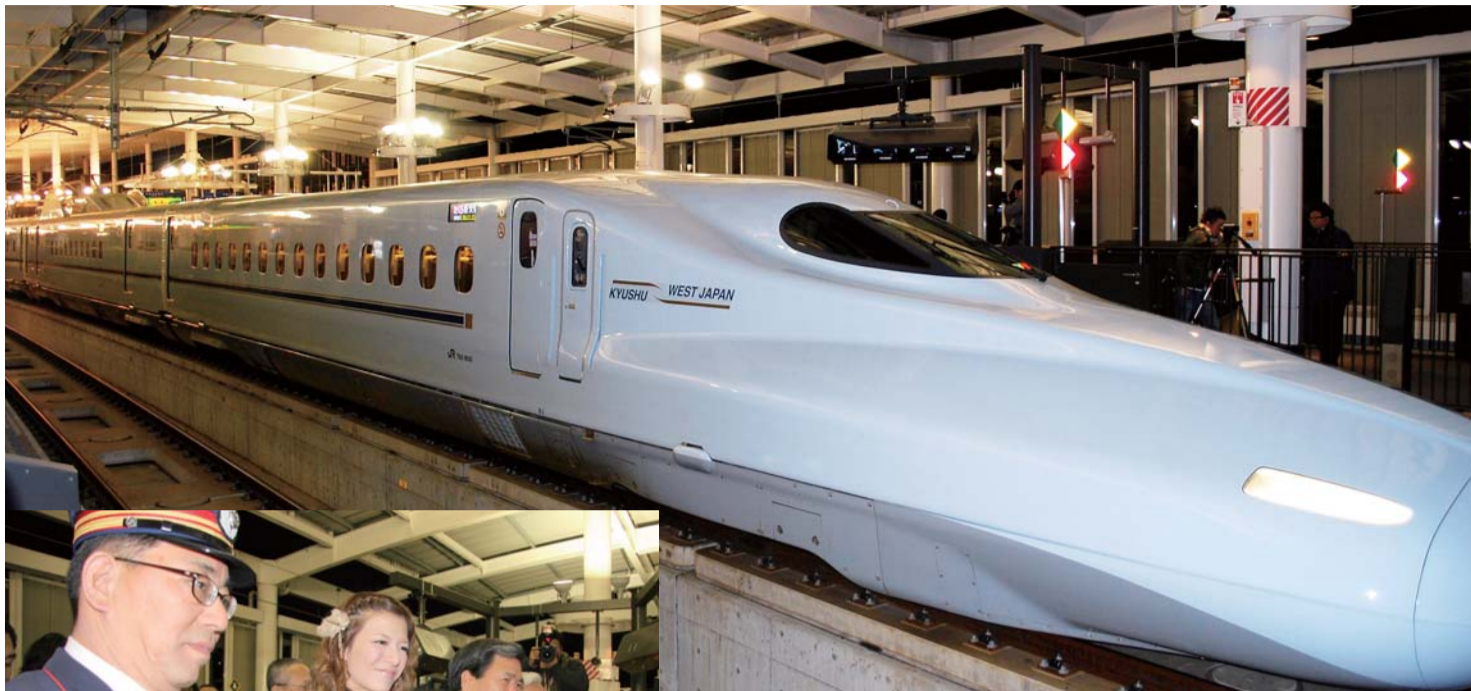


レポート

# 九州新幹線鹿児島ルート全線開業

## 一番列車「さくら」発車

九州新幹線鹿児島ルート（博多・鹿児島中央間）が3月12日、全線開業した。政府の整備計画決定から38年。鹿児島から青森まで高速鉄道の大動脈でつながった。県内では交流人口の拡大による波及効果に期待が高まる一方で、地域活性化のための受け皿として、観光や産業の拠点づくり、2次アクセスの整備などが早急に求められている。開業日の朝をカメラで追った。



▲新大阪へ向け出発する一番列車「さくら544号」

午前6時、熊本市春日3丁目のJR熊本駅12番ホームでは、一番列車「さくら544号」が家族連れやビジネスマンらに乗せ、新大阪へ向け発車した。前日に発生した東日本関東大震災の被災者に配慮し、出発式もない静かな門出となったが、蒲島郁夫知事、県宣伝部長のスザンヌさんも駆けつけ、JR九州の石原進会長や堀雄二熊本駅長らと共に「一番列車」を見送った。蒲島知事は「感無量ですが、被災者のことを思うと手放しで喜べない」と語る一方で、「九州新幹線と熊本市の政令市指定は100年に1度のチャンス。九州全体の活力にしたい」と力を込めた。



▲「一番列車」を見送ったJR九州の石原進会長、蒲島郁夫知事、県宣伝部長のスザンヌさん、堀雄二熊本駅長（写真奥から）



▲新大阪発の下り一番列車「みずほ601号」の到着を待つ出迎えの人や鉄道マニアたち

## ようこそ、熊本へ

一方、下り線11番ホームには午前9時、大勢の観光客や関西在住の県人会約70人に乗せた新大阪発の下り一番列車「みずほ601号」が到着。熊本駅前広場で予定されていたイベントは中止となったが、ホームでは蒲島知事や着物姿のAKJ1000のメンバーらが「ようこそ熊本へ」の横断幕を持ち熱烈歓迎。改札口近くでは地元春日地区の観光案内ボランティアらが到着客を温かく出迎えた。JR西日本によると一番列車の乗車率は135%と満杯だった。



▲下り一番列車で到着した関西の熊本県人会のツアー客を迎える蒲島知事や着物姿のAKJ1000のメンバー



▲改札口近くで到着客を温かく出迎えた地元春日地区の観光案内ボランティア



▲改札口近くで到着客を温かく出迎えた地元春日地区の観光案内ボランティア



▲観光客や地元客から賑わう新幹線口の商業施設「フRESTA熊本」。オープン前には長い行列もできた



▲観光客や地元客から賑わう新幹線口の商業施設「フRESTA熊本」。オープン前には長い行列もできた

**3日間の利用客数は21%増**  
JR九州が発表した九州新幹線鹿児島ルートの開業日から3日間の利用客数は、熊本・博多間が約6万4千人で、在来線特急を運行していた前年同期を21%上回ったが、1日平均客数は、震災と津波警報による在来線運休や外出手控えなどの影響を受け、目標数より4千人少ない、2万1千人にとどまった。  
九州新幹線の最高時速は260キロで、最速所要時間は熊本・新大阪間が2時間59分、熊本・博多間は33分で結ぶ。料金は「九州ネット早特」を利用すると熊本・博多間は片道3000円、熊本・新大阪間は「e早特」利用で同1万4400円になる。